

2024. 03

第88号

関西の林木育種

関西林木育種懇話会

関西林木育種懇話会会員との共同試験の取組みについて

関西育種場 育種課長 磯田 圭哉

平成21年度の関西林木育種懇話会総会で共同試験の提案を行って以来、8会員と12箇所の試験地を造成してきました。植栽から10年以上経過した試験地もあり、植栽系統の性能評価も可能となってきたことから、令和5年度の総会（いの町）では、これら共同試験の状況についての報告を行いました。ここでは、その概要を紹介いたします。

共同試験では、初期成長の早いスギやヒノキの実生やさし木、第2世代精英樹（エリートツリー）等の次世代育種素材に加え、クヌギや抵抗性アカマツ等の育種素材を植栽してきました（図1）。これらのうち、10年次データが得られた試験地の結果を紹介いたします。



図1 関西林木育種懇話会との共同試験地
赤字は本稿で紹介する試験地

香川県さぬき市の田中会員との共同試験では、スギ精英樹特性表で初期成長が早い精英樹を選んで人工交配させた系統等を植栽しました。10年次の樹高及び胸高直径のデータから材積を算出し、苗木の種類と比較を行ったところ、初期成長の早いスギ精英樹同士を人工交配した家系の平均値は対照の1.36倍の材積となりました(図2)。この試験地には、自殖家系も植栽していたのですが、やはり自殖家系の成長は悪く、対照の半分以下という結果になりました。

高知県の町の伊藤林業会員との共同試験でも同様に初期成長の早いスギの人工交配家系等を植栽しました。この試験地では、一般流通苗を植栽していないのですが、やはり人工交配家系は自然交配家系よりも成長が良いことが示されました。

山口県宇部市の田邊会員との共同試験では、ヒノキのさし木試験を行いました。ヒノキは実生苗による造林が一般的ですが、一部の地域では、さし木のニーズがあります。田邊会員もヒノキのさし木に古くから取り組んでおり、精英樹のさし木試験にご協力いただきました。精英樹のさし木苗と在来品種で人気の高い神光2号を植栽したところ、樹高成長は神光2号が最大でしたが、肥大成長においてより優れた精英樹が見られました。材積に換算したところ、図3のように、神光2号を上回る精英樹が3系統ありました。そのうちの1系統は大正署2号という少花粉品種でした。この品種は実生の成長特性は精英樹の中の中程度なのですが、さし木にすることにより優れた特性を発揮するものと考えられました。

今後、他の試験地の結果からも多くの知見が得られると期待されます。その中から、次世代の品種を開発していきたいと考えています。

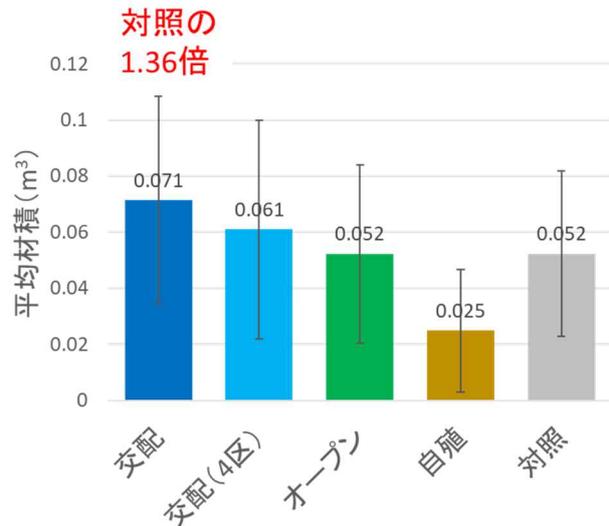


図2 香川県さぬき市田中氏との共同試験
 交配：初期成長の早いスギ同士の人工交配家系
 交配(4区)：日本海側地域由来の精英樹の交配
 オープン：初期成長の早いスギの自然交配家系
 自殖：スギ精英樹の自殖家系
 対照：一般流通苗

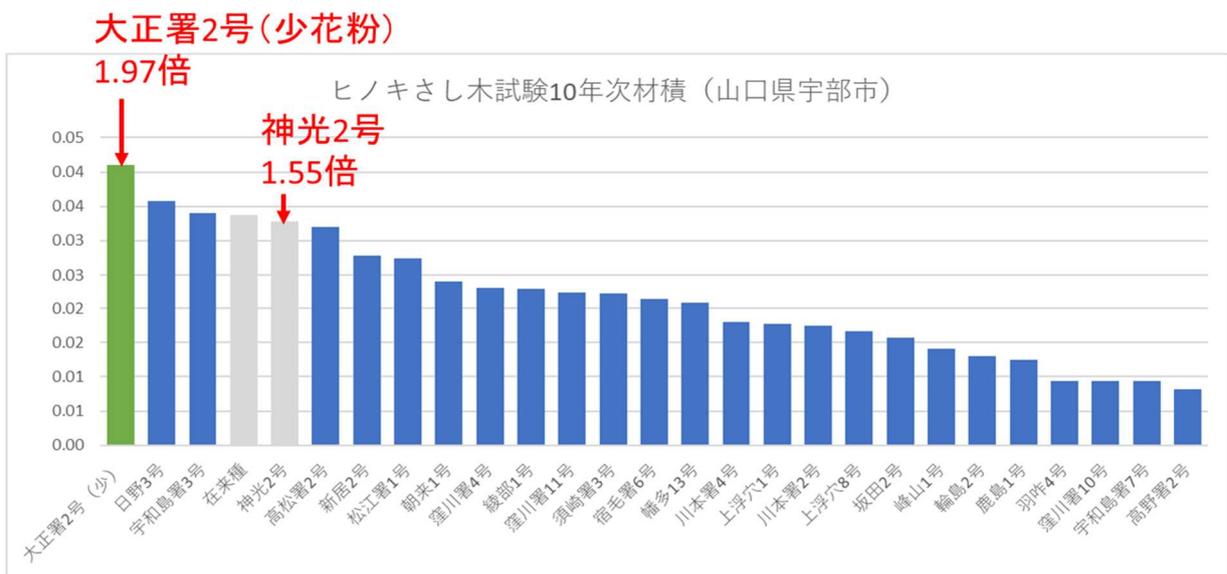


図3 山口県宇部市田邊会員との共同試験
 ヒノキ精英樹のさし木苗と在来のヒノキさし木品種である神光を植栽

関西地区特定母樹等普及促進会議へ植田会長が出席

関西林木育種懇話会事務局

令和5年9月26日(火)に、第9回関西地区特定母樹等普及促進会議が近畿中国森林管理局大会議室(大阪市)にて開催されました。関西林木育種懇話会を代表して植田会長が出席しましたので、ここに報告します。

会議の出席者は、府県の育種担当者や認定特定増殖事業者のほか、林野庁、近畿中国森林管理局、四国森林管理局、森林総合研究所、森林整備センター、森林保険センター、林木育種センター、関西育種場などから、82名の出席がありました。

始めに、林野庁より、森林・林業基本計画、「みどりの食料システム戦略」を踏まえたエリートツリー等の種穂の採種源の計画的整備、花粉症対策の全体像、花粉の少ないスギ苗木の生産量の推移等について説明がありました。

次に、関西育種場から、エリートツリーと特定母樹の開発状況と今後の開発計画として、関西育種基本区におけるエリートツリーの開発実績(計スギ155本、ヒノキ161本)、特定母樹の指定状況(計スギ56本、ヒノキ40本)、令和5年度の品種開発や申請の見通し等について説明がありました。

続いて、府県等から、技術指導、採種園管理、原種配布及び少花粉品種の特性を併せ持つ特定母樹の開発等、計11件の提案・要望があり、関西育種場等からそれぞれ回答がありました。その中でも、認定特定増殖事業者から特定苗木の広域流通の仕組みづくりについての要望があり、林野庁から「広域流通を促進する施策を新規事業として要求しているほか、関連通知の見直しも検討している」旨回答がありました。

情報提供では、日本製紙株式会社から「エリートツリーの普及に向けた取組み～採種穂園の整備、地元生産者との協業」と題し、エリートツリー閉鎖型採種園の整備、1年生コンテナ苗生産の流れ等について情報提供がありました。閉鎖型採種園を検討している府県等から多くの質問が寄せられるなど、活発な意見交換が行われました。

最後に、森林保険センターから、森林保険制度の概要等の説明がありました。

植田会長からは、「本年5月の花粉症に関する関係閣僚会議で『花粉症対策の全体像』が決定し、花粉の少ないスギ苗木を使っていくという流れになった。森林吸収源対策や花粉発生源対策のいずれも、育種を活用して解決していこうという流れが一層強まったと感じている。関西林木育種懇話会は、育種の成果を活用する、或いは普及に向けて応援していく立場にある。本会議で得た知見については、会員にフィードバックさせていただき、より一層、育種を活用した対策が進んでいくことを期待したい。本日は会議に出席させていただき、改めて感謝する。」と述べられました。



植田会長による発言

～事務局からのお知らせ～

《会員の受章・表彰》

関西林木育種懇話会会員の受章、表彰について、ご報告申し上げます。謹んでお慶び申し上げます。

令和五年 秋の叙勲・褒章受章者

＜旭日小綬章＞ 速水林業 速水 亨 氏（三重県）

令和四年 秋の叙勲・褒章受章者

＜黄綬褒章＞ 田邊 厚實 氏（山口県）

令和五年 緑化推進運動功労者

＜内閣総理大臣表彰＞ 田中 政晴 氏（香川県）

令和三年度 第60回全国林業経営推奨行事受賞者

＜林野庁長官賞＞ 田邊 厚實 氏（山口県）

《会員の訃報》

河村嘉一郎氏（岡山県）に於かれましては、令和5年10月に御逝去されたとの訃報を受けましたので、ここにお知らせしますと共に、故人の御冥福を心よりお祈り申し上げます。

【 令和6年度 第42回定期総会及び現地視察の開催について 】

○開催予定年月日 2024年5月30日（木）～31日（金）

○開催予定箇所 1) 定期総会及び情報提供：三重県内（調整中）

2) 現地視察：速水林業「大田賀山林」（三重県紀北町）

編集後記

事務局では、皆様からの原稿を広く募集しており、ご投稿をお待ちしています。また、トピックや取り上げて欲しい記事等がありましたら、事務局へお知らせ下さい。

紙面に関するご意見・ご感想について、事務局までお寄せ下さい。

関西の林木育種 第88号 2024.03

〒709-4335

岡山県勝田郡勝央町植月中1043

国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林総合研究所

林木育種センター関西育種場内

関西林木育種懇話会事務局 編集・発行

TEL0868-38-5138 FAX0868-38-5139